

第12回修学旅行ホームページコンクール 表彰式

— 平成25年3月12日(火)私学会館 —

主催 公益財団法人全国修学旅行研究協会

後援 文部科学省／全国高等学校長協会／全日本中学校長会／全国連合小学校長会
／日本私立中学高等学校連合会／朝日新聞社

皆様、こんにちは。

只今ご紹介いただきました、公益財団法人 全国修学旅行研究協会の理事長 岩瀬正司でございます。本日は第12回ホームページコンクール表彰式にご参会いただきまして、ありがとうございます。

特に、本コンクールにご後援をいただいております文部科学省からは、公務ご多用にもかかわらず、初等中等教育局児童生徒課長 白間竜一郎様 にご臨席いただきました。まことにありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さて、本日受賞されます、

岡山県早島町立早島小学校、埼玉県熊谷市立玉井中学校、京都府立西舞鶴高等学校の皆様方、受賞おめでとうございます。そして遠方より参加していただきましてありがとうございます。

私たちの協会は、修学旅行の調査・研究や修学旅行そのものへの啓発・開発事業、あるいは自治体や観光・旅行関係の方々や学校とをつなぐ仕事をしています。その事業の一環としてこのホームページコンクールを開催しており、本年は12回を迎えております。

募集要項にありますように、「このコンクールは、修学旅行に関する学校のホームページを対象に、優れた取り組み事例を募集・顕彰し、広く全国に向けて情報配信を行うものです。」そして「各学校による修学旅行に関わる学習内容や、インターネットの活用等の面において様々な工夫がみられるものなど、今後の実践の上でも大いに参考になるものを選出し、ご紹介」するものとしています。

本日まで出席の小・中・高の3校の皆様方の作品は、のちほどお話があるかとは思いますが、それぞれの校種や児童生徒の発達段階に応じた、どれも素晴らしい作品ばかりでございます。日本全国それぞれの学校が参考にするすぐれた作品であります。

修学旅行は、言うまでもなく学校にとっては非常に大きなそして重要な教育的意義のある行事であり、参加する児童生徒にとっては、学校生活の中でもやはり最高の行事の一つであり、一生涯の思い出となる行事であります。そして、諸外国にはあまり例を見ない、日本独特の行事であるとも言われています。

修学旅行はもちろん楽しいことばかりではなく、そこに至るまでには様々な課題や苦労があります。本日ご参加いただきました3校の皆様方も、様々な課題を克服し、結果として実りある修学旅行が実現したものと推察いたします。そのような、本日に至るまでのご努力に敬意を表しまして、また日本中の学校の修学旅行が今後もますます充実したものになるよう祈念し、あいさつとさせていただきます。

平成25年3月12日（火）
公益財団法人 全国修学旅行研究協会
理事長 岩瀬 正司